

図画工作科 学習指導案

令和8年6月11日(木) 学習指導 I 第2学年1組(第1図工室) 指導者 毛塚 鮎美

【題材】 なでなで ギゅ (立体に表す)

考察	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぐしたクラフト紙で新聞紙を包み, 紙紐や輪ゴムで縛る活動を通して, なでたり抱きしめたりした時の質感や形に気付く力 (共(1)ア) ・自分が表したいものを基に, クラフト紙のほぐし具合, 新聞紙の包み方や量, 紙紐や輪ゴムで縛る位置や強さを工夫する力 (A(2)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぐしたクラフト紙で新聞紙を包み, 紙紐や輪ゴムで縛る活動を通して, なでたり抱きしめたりした時の質感や形から表したいものを見付け, クラフト紙のほぐし具合, 新聞紙の包み方や量, 紙紐や輪ゴムで縛る位置や強さについて考える力 (A(1)イ) ・なでたり抱きしめたりした時の質感や形を基に, 自分のイメージをもつ力 (共(1)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラフト紙のほぐし具合, 新聞紙の包み方や量, 紙紐や輪ゴムで縛る位置や強さを工夫して自分が表したいものをつくり出す喜びを味わい, 自他の作品をなでたり抱きしめたりしながら質感や形を楽しむ態度
子どもの実態	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの材料を用いて立体に表す活動では, 材料の形や色などを工夫する面白さに気付き, 材料や用い方を自分が表したいものに合わせて表現できる。 ・材料を選んだり組み合わせたりする時に質感に着目する様子は見られない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの材料を用いて立体に表す活動では材料の形や色などを見て感じたことを基に, 自分が表したいものを考えることができる。 ・自分が表したいものに向けて, 材料の形や色による表し方の工夫は考えられるが, 質感を基にした表し方を考えるには至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボンドや絵の具を固めた後の凹凸を指でなぞったり, 絵の具を手指につけたりと, 身の回りのものを触って関わることを楽しめる。 ・質感に注目して, 作品をつくり出す喜びや楽しさには気付いていない。
価値	<p>・本題材は, なでたり抱きしめたりしたときに心地のよいクラフト紙の質感や, クラフト紙で新聞紙を包んだ時の凹凸などの形を考えて, 自分の表したい立体に表すものである。本題材で用いる材料は, クラフト紙, 新聞紙, 紙紐, 輪ゴムであり, クラフト紙は子どもが扱いやすい900mm×1300mmの大きさのものを1人1枚配付する。クラフト紙は, 手を加えない状態であれば, 表面が平滑で張りのある質感である。それが, 丸めたり, 広げたり, ねじったりとほぐしていくうちに柔らかくなり, 手に馴染むような心地よい質感へと変化する。そして自分にとって心地よい質感までほぐしたクラフト紙で, 丸めた新聞紙の量を考えて包むことにより, ギゅっと抱きしめたいくなる。また, 紙紐や輪ゴムで縛る位置や, 強さを変えていくことで, 凹凸をつくることができ, 形に違いが生まれる。そのため, 自他の作品から, 質感や形に気付いたり, 楽しさや面白さを感じ取ったりしながら, なでたりギゅっと抱きしめたりしたくなる「友だち」をつくっていく。子どもにとって「友だち」とは, 身近で, 楽しい時間を共に過ごす存在である。自分にとって心地のよい質感や形の「友だち」をなでたりギゅっと抱きしめたりしながらつくっていくことで, 作品への愛着が増し, より心地よい質感や形にしようと, ほぐしたクラフト紙で新聞紙を包んだり, 紙紐や輪ゴムで縛ったりする活動を繰り返すことができる。また, 作品を鑑賞する場面では, 互いの作品をなでたり抱きしめたりし, 感想を伝え合うことで自他の感じ方の違いに気付けるため, 自分にとって新たな意味や価値をつくり出せる。</p> <p>・クラフト紙, 新聞紙, 紙紐, 輪ゴムを用いて立体に表すことは, 簡単に質感や形を変えられるため, 表したいものに向けて何度もなでたり, 抱きしめたりしながら工夫できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぐしたクラフト紙で新聞紙を包み, 紙紐や輪ゴムで縛る活動は, 質感や形に着目するため, 表したいものに向けてクラフト紙のほぐし具合, 新聞紙の包み方や量, 紙紐や輪ゴムで縛る位置や強さを考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自他がつくった作品をなでたり抱きしめたりすることによって, 質感や形の違いに気付くため, 自他の作品の質感や形の楽しさや面白さなどに気付ける。
見方・考え方	クラフト紙のほぐし具合, 新聞紙の包み方や量, 紙紐や輪ゴムで縛る位置や強さを工夫した作品を, 質感や形の視点で捉え, 自分のイメージや思いをもちながら意味や価値をつくりだすこと。		
今後の学習	第3学年の「切って つんで (立体に表す)」の学習へと発展していく。		

指導と評価の計画

目標	自分が表したいものの実現に向けて、手や体全体の感覚を働かせてほぐしたクラフト紙で新聞紙を包み、紙紐や輪ゴムで縛る活動に取り組む中で作品をなでたり抱きしめたりした時の質感や形に気付くとともに、クラフト紙のほぐし具合、新聞紙の包み方や量、紙紐や輪ゴムで縛る位置や強さを工夫してつくり出す喜びを味わったり、自他の作品をなでたり抱きしめたりしながら、質感や形を楽しめる。		
評価規準	<p>(①知・技) クラフト紙のほぐし具合、新聞紙の包み方や量、紙紐や輪ゴムで縛る位置や強さを工夫して表し、作品をなでたり抱きしめたりした時の質感や形に気付いている。</p> <p>(②思・判・表) なでたり抱きしめたりした時の質感や形を基に、自分のイメージや思いをもったり、表したいものに向けてクラフト紙のほぐし具合や大きさ、新聞紙の量、紐や輪ゴムで縛る位置や強さを考えたりしている。</p> <p>(③主体的態度) つくりだす喜びを味わい、ほぐしたクラフト紙で新聞紙を包み、縛る活動に進んで取り組んだり、作品の質感や形の楽しさや面白さを感じ取ったりしようとしている。</p>		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
であう	1	<p>○クラフト紙と出会い、丸めたり、広げたりねじったりしながら遊ぶことを通して、ほぐれたクラフト紙の質感を味わう。</p> <p>1</p> <p>○ほぐしたクラフト紙で新聞紙を包んだり、紙紐や輪ゴムで縛ったりして、量感や凹凸などの形が生まれることに気付き、自分が表したいものを決める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習のめあて</p> <p>なでなでぎゅっとしたくなるお友だちをつくらう</p> </div>	<p>○クラフト紙に体全体で十分に関われるように、体育館において、丸めたり、広げたり、ねじったりしながら遊ぶ機会を設定する。</p> <p>○自分が表したいもののイメージがもてるように、新聞紙の包み方や量、紙紐や輪ゴムで縛る位置や強さを試す機会を設定する。</p>
あらかわす・ひろげる	4	<p>○クラフト紙のほぐし具合、新聞紙の包み方や量、紙紐や輪ゴムで縛る位置や強さを工夫して、自分が表したいものをつくる。 (本時2 / 4時間目)</p>	<p>○他者の造形活動を参考にしながらクラフト紙のほぐし具合、新聞紙の包み方や量、紙紐や輪ゴムで縛る位置や強さを工夫したり、心地のよい質感や形に気付いたりできるように、図工室中央に材料置き場と子ども同士が作品を持ち寄り、交流できる場を設定する。</p>
ふりかえる	1	<p>○自他の作品を、なでたり抱きしめたりしながら質感や形の違いを感じ、楽しさや面白さに気付く。</p>	<p>○自他の作品の質感や形の感じ方の違いと楽しさや面白さに気付けるように、自他の作品になでたり抱きしめたりしながら鑑賞できる機会を設定する。</p>
			<p>◇クラフト紙の質感の変化に関する楽しさや面白さについて発言している。 <発言③></p> <p>◇クラフト紙による新聞紙の包み方や量、紙紐や輪ゴムで縛る位置や強さによって凹凸などの形が変わることや、自分が表したいものについて記述している。 <発言・ワークシート②></p> <p>◇クラフト紙のほぐし具合、新聞紙の包み方や量、紙紐や輪ゴムで縛る位置や強さなどを変えることによる、質感や形の変化への気付きや、つくりだす喜びについて記述している。 <作品・ワークシート①②③></p> <p>◇自他の作品から感じ取った、クラフト紙のほぐし具合や大きさ、新聞紙の量、紐や輪ゴムで縛る位置や強さの工夫や質感や形の楽しさや面白さについて記述している。 <ワークシート①②③></p>

本時の学習（4／7時間目）

ねらい ほぐしたクラフト紙で新聞紙を包み、紙紐や輪ゴムで縛る活動を通して、自分の表したい質感や形を基に、クラフト紙のほぐし具合や大きさ、新聞紙の量、紙紐や輪ゴムで縛る位置や強さを工夫することができる。

評価規準 クラフト紙のほぐし具合、新聞紙の包み方や量、紙紐や輪ゴムで縛る位置や強さなどを変えることによる、質感や形の変化への気付きや、つくりだす喜びについて記述している。 <作品・ワークシート①②③>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前は、ふわふわな毛虫をつくるために、クラフト紙をほぐしてふわふわな質感にしたのだったな。 ・抱きしめたくくなるような、凹凸のある毛虫をつくるためにクラフト紙で包む新聞紙の量や輪ゴムで縛る位置や強さを考えたいな。 <p style="text-align: right;">(目的意識)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の表したいものに向けて、クラフト紙を丸めたり広げたりしてほぐすことで質感が柔らかく変化することや、クラフト紙に新聞紙を入れると抱きしめたとときの形が変わることなど、前時までに取り組んだ表し方の工夫を想起できるように、前時までのワークシートを見返すよう促す。 ○本時の見通しがもてるように、自分の表したものに向けて不足している表し方の工夫と、本時に取り組みたいことを問いかける。
<p>個人のみあて：新聞紙の量や、紙紐や輪ゴムで縛る位置や強さを変えて、もっと抱きしめたくなる毛虫にしよう</p>	
<p>2 自分が表したいものに合うようにクラフト紙のほぐし具合や新聞紙の量、紙紐や輪ゴムで縛る位置を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは新聞紙を包んで洗濯ばさみで仮留めしてみよう。新聞紙をたくさん入れた方が、毛虫が大きくなるし、丸くなって可愛くなりそうだな。 ・ぎゅっとしてみたら質感が少し硬い感じがするな。一度新聞紙を取り出して、もう少しクラフト紙をほぐしてみよう。 ・もっとふわふわになったぞ。新聞紙を戻して輪ゴムで留めよう。でも、友達は紙紐で縛っているのだな。紙紐で縛るとどんな感じになるんだろう。広場で友達の作品をぎゅっとさせてもらおう。 ・広場に集まっている友達の作品をぎゅっとさせてもらったよ。紙紐で強く縛ると、凹凸がはっきりすることに気付いたよ。凹凸がはっきりすると、抱きしめやすい感じがするな。 ・他の友達も、熊をつくる時に、体と頭の凹凸がはっきりするように強く縛るという工夫をしていたよ。縛る位置だけでなく、縛る強さによっても抱きしめた感じが変わるのだな。自分の作品ももっと強く縛ると境目がはっきりして、毛虫らしいもこもこした形になりそうだな。 <p>・新聞紙をたくさん詰めて、紙紐で1か所だけ強く縛って見たら、凹凸の部分に腕がはまって、もっと抱きしめたくなる毛虫に近づけられたよ。</p> <p style="text-align: right;">(目的を達成した意識)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が表したいものに向けて、本時の表現の工夫を考えられるように、これまで見つけてきたクラフト紙のほぐし具合、新聞紙包み方や量、紙紐や輪ゴムで縛る位置や強さなどの工夫による質感や形の変化について問いかける。 ○自分が表したいものの実現に向けて、表し方をさらに工夫できるように、自分の納得する質感になるまで新聞紙をほぐしたり、新聞紙の量を調整したりしている子どもを称賛する。 ○自分が気付いていなかった工夫や、友達が取り入れている工夫に気付けるように、これまでに全体で共有されていない工夫をしている子どもを紹介し、そのよさを問いかける。 ○互いの作品を見たり、実際に触れたりして、自他の作品の質感や形のよさに気付けるように、交流できる場で互いの作品をなでたり抱きしめたりして感想を伝え合うよう促す。 ○自分の表したいものの実現に向けて、さらに取り入れるとよい表し方の工夫を見付けられるように、質感や形といった視点で、友達の作品を見たり、自分の作品と比べたりしている子どもに、気付いたことを問いかける。 ○自分が表したいものに近付けるために工夫したところやこだわったところを自覚できるように、工夫したところや前時から変化したところを問いかけ、ワークシートに記述するよう促す。
<p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は、紙紐で強く縛って形を変えてみたよ。まだ1か所しか縛れていないから、次回は縛る所を増やしたり、縛る強さを変えたりしながら形を変えて、もっと抱きしめたくくなるような毛虫にしたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の活動を基に、次時への見通しをもてるように、「次時に取り組みたいこと」について近くの友達と互いの作品を見たり、実際に触れてみたりしながら話す機会を設け、気付いたことを問いかける。